# 学生便覧 2024 (今和6年度)

## HANDBOOK

**UNIVERSITY OF YAMANASHI** 

Faculty of

Education
Medicine
Engineering
Life & Environmental Sciences





#### 8 GPA制度及び履修登録単位数の上限制度に関する要項

制 定 平成20年 3月18日 最終改正 令和6年 1月18日

(目的)

第1条 この要項は、山梨大学(以下「本学」という。)におけるグレードポイントアベレージ(以下「GPA」という。)及び履修登録単位数の 上限制度について必要な事項を定め、学生の学習意欲を高めるとともに、厳格な成績評価と学生支援に資することを目的とする。

(完義)

- 第2条 「GPA」とは、各授業科目 11 段階の成績評価に対応して  $4\sim0$  のグレードポイント(以下「GP」という。)を付与して算出する 1 単位 当たりの GP 平均値をいう。
- 2 GPA対象授業科目は、次の各号に掲げる授業科目とする。
- (1) 100 点を満点として成績評価されるすべての授業科目
- (2) 本学在学中に、他の大学において履修した授業科目又は外国の大学(短期大学を含む。)において学修した成果・履修した授業科目であって、 第1号の要件を満たす授業科目
- (3) 本学入学前及び他の大学(短期大学,高等専門学校を含む。)において履修した授業科目又は外国の大学(短期大学を含む。)において学修した成果若しくは履修した授業科目であって、本学における授業科目の履修により修得したものとみなされた授業科目であり、かつ第1号の要件を満たす授業科目
- (4) 短期大学・高等専門学校等及び文部科学大臣が別に定める学修を本学の定める授業科目の履修とみなし、単位を与えられた授業科目であって、 第1号の要件を満たす授業科目
- 3 成績評価が点数によらない以下の科目及び未入力又は保留の授業科目については、GPAの対象から除く。
- (1) 合格か不合格かだけを判定する授業科目
- (2) 編入学又は転入学した際の単位認定科目
- (3) 本学入学前に修得した単位認定科目
- (4) 他大学等との単位互換等で修得した科目

(成績評価基準およびGP)

第3条 各学部等で定める成績評価の成績評価基準は、以下のとおりとする。

	評価	評価基準
	S	到達目標を達成し、卓越した学習成果をあげた
合格	A	到達目標を達成し、優秀な学習成果をあげた
合格	В	おおむね到達目標を達成した
	С	最低限の到達目標を達成した
不合格	F	到達目標を達成していない

(1)	S	$(95 \sim 100)$	GP = 4.0
(2)	s -	$(90 \sim 94)$	GP = 3.7
(3)	A +	(87 ~ 89)	GP = 3.3
(4)	A	(83 ~ 86)	GP = 3.0
(5)	A -	$(80 \sim 82)$	GP = 2.7
(6)	B +	$(77 \sim 79)$	GP = 2.3
(7)	В	$(73 \sim 76)$	GP = 2.0
(8)	В –	$(70 \sim 72)$	GP = 1.7
(9)	C +	$(66 \sim 69)$	GP = 1.3
(10)	C	$(60 \sim 65)$	GP = 1.0
(11)	F	(0~59及び未受験)	GP = 0.0
(12)	N	(無資格)	GP = 0.0
(13)	T	(認定)	GP = 対象外
(14)	I	(未入力、保留)	G P = 対象外

(GPAの種類及び計算方法)

- 第4条 GPAは、当該学期に履修した第2条第2項各号に定めるGPA対象科目について、学期GPA及び通算GPAに区分し、各区分の定める方法により計算するものとし、計算値は小数点以下第2位を四捨五入して表記するものとする。
- (1) 学期GPAは、当該学期の授業科目ごとに得たGPに当該授業科目の単位数を乗じる計算を、当該学期に成績評価を受けた授業科目分行い、その合計を当該学期に成績評価を受けた授業科目の単位数の合計で除して算出する。
  - 学期GPA=(当該授業科目のGP×当該学期に履修登録した授業科目の単位数)の合計/当該学期の成績評価を受けた授業科目の単位数の合計

(2) 通算GPAは、入学時からの現在の学期までの授業科目ごとに得たGPに、当該授業科目の単位数を乗じる計算を、入学時からの現在の学期までに成績評価を受けた授業科目分行い、その合計を入学時からの現在の学期までに成績評価を受けた授業科目の単位数の合計で除して算出する。

通算 G P A = (入学時からの当該授業科目の G P × 履修登録した授業科目の単位数) の合計/入学時から成績評価を受けた授業科目の単位数 の合計

(GPA計算期日)

- 第5条 GPAの計算は、学期ごとに指定された期日(以下「GPA計算期日」という。)までに確定した成績に基づいて行う。
- 2 第3条第14号に規定する成績の保留又は追試験等のため期日までに成績が確定していない科目については、計算上は履修していないものとして取扱う。
- 3 GPA計算期日は、原則として前期にあっては9月1日、後期にあっては3月10日とする。

(履修の取り消し)

- 第6条 一度履修登録した科目であっても、受講目的が達成されないなどの理由により履修を取り消すことができる。
- 2 履修の取り消しは、別に定める履修取り消し期間に行うことができる。ただし、履修取り消し期間内に手続を行なわない場合は、当初申請した履修科目が成績評価の対象となる。
- 3 前項の規定にかかわらず、病気・事故等やむを得ない事情による場合は、履修取り消し期間以降においても履修を取り消すことができる。
- 4 履修登録修正期限までに履修登録を取り消した場合及び学部長等による履修登録の変更措置が行われた場合を除き、履修を放棄した科目の成績は第3条第12号に規定する無資格として扱う。

(履修登録単位数の上限 (CAP制))

- 第7条 学部学生が、各学期に履修登録できる科目の単位数の上限(CAP制)は、別表のとおりとする。
- 2 全学共通教育科目のうち、以下の科目は履修登録単位数の上限科目から除く。
- (1) 人間形成科目部門の科目
- (2) 自発的教養科目部門の科目
- (3) 全学共通教育科目のうち2単位以外の科目
- (4) 外部試験・単位互換で全学共通教育科目に認定する科目
- (5) 集中講義
- 3 通年科目については、CAP 制の適用上、その単位数の2分の1を前期及び後期にそれぞれ履修したものとみなす。

(転学部・転学科・転コース生の取り扱い)

第8条 学生が転学部・転学科・転コースを行った直後の学期における履修登録単位数の上限は、当該学籍異動の前の所属における前学期の学期 GPAと、当該学籍異動の前の所属における履修登録単位数の上限に基づいて適用するものとする。また、適用除外科目は、当該学籍異動の後 の所属における適用除外科目を適用するものとする。

(再履修等における授業科目の取扱い)

第9条 不合格(F又はN GP=0)と評価され、後に再履修等によって合格となった場合は、不合格の学習成績と新たな学習成績を併記して 記録する。

(GPAの通知及び記載)

- 第10条 GPAの学生及び保護者への通知は、学期GPA及び通算GPAを記載した修得単位通知書により行う。
- 2 通算GPAは、成績証明書及び成績原簿に記載する。

(GPAデータの提供及び活用)

- 第11条 本学職員が、教育活動の改善等を目的として行なう調査研究等においてGPAデータの提供を希望する場合は、別紙申請書により、大学教育・DX推進センター長に申請するものとする。
- 2 大学教育・D X 推進センター長は、前項の申請理由が適当であると判断したときは、G P A に係る各種資料を提供するものとする。 (経過措置)
- 第12条 平成20年3月31日において現に在籍する者(以下「在籍者」という。)及び在籍者の属する年次に転入学、編入学又は再入学する者についての成績証明書及び成績原簿の成績評価の取扱いについては、各学部の履修規程によるものとし、全学共通教育科目における履修登録単位数の上限は適用しない。また、成績証明書には、学期GPA及び通算GPAの記載は行わないものとする。

(準用規定)

- 第13条 第1条~第8条(第2条2項(4)は除く)は、山梨大学大学院教育学研究科に準用する。この場合において、「大学」・「大学(短期大学を含む。)」・「大学(短期大学,高等専門学校を含む。)」は「大学院教育学研究科」に、「学部長等」は「教育学研究科長」に読み替えるものとする。(その他)
- 第14条 この要項に定めるもののほか、GPAおよび履修登録単位数の上限の取扱いに関し必要な事項は、別に定める。

#### 別表

<i>3</i> ,130						
学 部	前学期の 学期 GPA *1 魔修登録 単位数の上限		備考			
	3.0 以上	32	・学部共通の科目部門の科目のうち、資格取得に必要とされる科			
	2.9 ~ 2.5	30	- 目(ただし、教員免許取得の科目及び同一授業科目で資格取得 と教員免許取得の両方に係る授業科目は、CAP 制を適用する。) 特別な理由があると認			
教育学部	2.4 ~ 1.6	28	・コース専門科目のうち要求単位数に含まれない科目(中学校 教論普通免許状の教科に関する科目として使用できない科目及	れる場合は、履修登録単位		
秋 日 子 即	1.5 以下	26	び特別支援学校教諭普通免許状に関する科目として使用できない科目については、全て CAP 制を適用しない。)	数の上限を超えて履修登録することができる。		
	新入生等 * 2	30	<ul><li>・教育実習・卒業論文等、通常の履修申告と申告形式を異にする 科目</li><li>・集中講義</li></ul>	9 a c 2 N· C e a o		
	3.0 以上	34				
	2.9 ~ 2.5	32		特別な理由があると認めら		
医 学 部	2.4 ~ 1.6	30	・専門科目のうち、複数年度にわたり開講する科目	れる場合は、履修登録単位		
	1.5 以下	28	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	数の上限を超えて履修登録 することができる。		
	新入生等 * 2	38		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
	3.0 以上	32				
	$2.9 \sim 2.5$	30		特別な理由があると認めら		
工学部	2.4 ~ 1.6	28	・集中講義  ・専門科目のうち、工学特殊科目部門及びその他の科目	れる場合は、履修登録単位		
	1.5 以下	26	・卒業要件に修得単位が含まれない科目	数の上限を超えて履修登録		
	新入生等 * 2	30		7 3 2 2 7 2 3 8		
	3.0 以上	32				
	2.9 ~ 2.5	30		特別な理由があると認めら		
生命環境学部	2.4 ~ 1.6	28	<ul><li>・集中講義</li><li>・卒業論文</li></ul>	れる場合は、履修登録単位		
	1.5 以下	26	・卒業要件に修得単位が含まれない科目	数の上限を超えて履修登録 することができる。		
	新入生等 * 2	30		1 7 W C C W C C W 0		

- \*1 前学期が休学等の場合には、その直前の学期GPAを参照する。
- \*2 入学、編入学、再入学する学生

附 則

この要項は、平成20年4月1日から施行する。

附則

この要項は、平成 20 年 12 月 17 日から施行し、平成 20 年 10 月 1 日から適用する。

附 則

この要項は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この要項は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成20年4月1日から平成24年3月31日までに入学、転入学、編入学又は再入学し在学する者(以下「在学者」という。)並びに平成24年4月1日以後において在学者の属する年次に転入学、編入学又は再入学する者についての成績証明書、成績原簿の成績評価及びGPについては、第3条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この要項は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和3年4月1日から施行する。

附則

この要項は、令和3年12月14日から施行する。

附 則

この要項は、令和5年1月23日から施行し、令和5年1月1日から適用する。

KH 118

- 1 この要項は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、施行日前に工学部機械工学科、メカトロニクス工学科、電気電子工学科、コンピュータ理工学科、土木環境工学科、応用化学科及び先端材料理工学科に在学する者(以下「在学者」という。)並びに令和6年4月1日以後において在学者の属する年次に再入学、編入学及び転入学する者については、なお従前の例による。

#### 9 GPT制度に関する要項

制 定 令和5年12月7日

(目的)

第1条 この要項は、山梨大学(以下「本学」という。)におけるグレードポイントトータル(以下「GPT」という。)制度について必要な事項を定め、 学生の意欲に基づく幅広い知識や素養の修得状況を評価する指標として活用することを目的とする。

(定義)

- 第2条 「GPT」とは、「GPA制度及び履修登録単位数の上限制度に関する要項」(以下「GPA制度要項」という。)第3条及び「山梨大学大学院医工農学総合教育部GPA制度に関する要項」(以下「教育部GPA制度要項」という。)第3条の2に定める各授業科目11段階の成績評価に対応して付与される4~0のグレードポイント(以下「GP」という。)と単位数の積の総和をいう。
- 2 GPの取扱いについては、GPA制度要項又は教育部GPA制度要項の規定を適用する。

(対象授業科目)

- 第3条 GPTの対象授業科目は、次の各号に掲げる授業科目とする。
- (1) GPA制度要項第2条第2項各号の授業科目
- (2) 教育部 G P A 制度要項第 2 条第 2 項各号の授業科目
- 2 成績評価が点数によらない以下の科目及び未入力又は保留の授業科目については、GPTの対象から除く。
- (1) 合格か不合格かだけを判定する授業科目
- (2) 編入学又は転入学した際の単位認定科目
- (3) 本学入学前に修得した単位認定科目
- (4) 他の大学等又は大学院等との単位互換等で修得した科目

(GPTの計算方法)

- 第4条 GPTは、前条第1項に定める対象授業科目について、次の計算式により通算GPTとして計算するものとする。
- (1) 通算GPTは、入学時からの現在の学期までの授業科目ごとに得たGPに、当該授業科目の単位数を乗じる計算を、入学時からの現在の学期までに成績評価を受けた授業科目分行い、その合計により算出する。

通算GPT=(当該授業科目のGP×当該授業科目の単位数)の入学時からの合計

(GPTの活用及び運用)

- 第5条 GPTについては、各学部等及び大学院において活用することができる。
- 2 GPTの対象学生や計算期日など、運用に必要な事項は、活用する各学部等及び大学院ごとに定めるものとする。

(その他)

第6条 この要項に定めるもののほか、GPTに関する取扱いに関し必要な事項は、活用する各学部等及び大学院において別に定める。

附 則

この要項は、令和6年4月1日から施行する。

別表 1 全学共通教育科目要求単位数

					全学共通教育科目										
	学	部		人間形成	語学教育	科目部門	情報・数理	教養教育	自発的教養						
				科目部門	英語	未習外国語	教育科目部門	科目部門	科目部門						
				4	6	4	2	12							
教	育	学	部	4	1	2	2	12							
							32								
				2	10	4	2	10							
	医 学 **		科	2	1	4	2	10							
医							32								
学部										2	8	4	2	10	
	看	護 学	科		12		2 10								
							30								
				2	8	4	2	10							
エ	ž	学 部		学 部		学 部			1	4	2	10			
							32								
		環境学部	環境学部		2	4	4	2	10						
生	命 環			境学部	境学部	境学部		1	4		10				
	32														

<sup>(</sup>注)1 各部門の単位修得方法の詳細については、各部門の履修案内を参照すること。

#### 別表2 人間形成科目

	授 業 科 目 名	単	毎 時 間	週 <b>罰</b> 数	履修	備老
	仅 未 竹 日 石	位	前期	後 期	年次	УHH 15
	健康 I 健康 I	1 1	2	2	1 1	必修
牛	キャリアデザイン I (自己理解)	2	2	2	1~4	
サリ	キャリアデザインⅡ (仕事理解)	2	2	2	1~4	
ア形	キャリアデザインⅢ (キャリアビジョン)	2	2		1~4	・教育学部は、 5科目のうち1科目選択必修
成科	SDGs から社会を考える	2		2	1~4	
目	キャリア形成のための作文演習	2	2		1	
国	海外で学ぼう - 海外職場文化体験 I	1	1		1~4	
際理	海外で学ぼう - 海外職場文化体験Ⅱ	1		1	1~4	- 選択
解科	海外で学ぼう - 海外研修・交換留学 Gateway I	1	1	-	1~4	<b>西</b> 八
I	海外で学ぼう - 海外研修・交換留学 Gateway II	1		1	1~4	

<sup>(</sup>注) 1 キャリアデザイン I (自己理解)は、1年次に履修するのが望ましい。 キャリアデザイン II (仕事理解)は、2年次に履修するのが望ましい。 キャリアデザイン II (キャリアビジョン)は、3年次に履修するのが望ましい。

2 国際理解科目は海外研修プログラム、海外インターンシップまたは交換留学に参加する学生が対象である。

別表3 語学教育科目(英語)

授業科目名	単	毎 週 時間数		備老	
仅耒軒日石	位	前期	後 期	/明 <i>-</i> 号	
英語 A 初級 英語 A 中級 英語 A 上級 英語 B 初級 英語 B 中級 英語 B 上級 英語 M A ( 医学科 ) 英語 M B ( 医学科 )	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	必修 指定クラスでAとBを履修	
英語TC (工学部) 英語TD (工学部)	2 2	2	2	必修 指定クラスで TC と TD を履修	
英語Mリーディング・ライティング ( 医学科)	2		2	選択	
総合英語 英語リーディング・ライティング 英語リーディング・ライティング (上級 ) 英語オーラルコミュニケーション 英語オーラルコミュニケーション (上級 ) 英語MC (医学科 ) 英語MD (医学科 )	2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2	選択 少なくとも1科目(2単位)以上選択 することが望ましい	
English for Studying Abroad I English for Studying Abroad II	4 4	4	4	選択 受講要件に従い履修可能	
e − ラーニング I e − ラーニング II	1 1	1	1	選択	
Intensive 60 - I (英語) Intensive 60 - II (英語)	4 4	4	4	選択受講要件に従い履修可能	

- (注) 1 必修科目における履修の順序指定はない (例えば前期でAが履修できなくとも後期でBを受講できる)。
  - 2 必修科目を再履修する場合は原則として、学部学科指定の履修できなかった科目を登録すること。
  - 3 必修科目の単位認定が認められた後、希望により当該科目を受講できるが、新たに単位を付与しない。
  - 4 交流協定大学での語学研修を修了した場合は、選択科目として2単位分を認める。

別表4 外部試験による単位認定

英語外部試験認定単位数	外部試験認定単位数   TOEIC   TOEFL     ITP		TOEFL iBT	IELTS	英 検
認定単位 [2単位]	500 - 695	450 - 529	45 - 71	4.5 - 5	2級
認定単位 [4単位]	700 以上	530 以上	72 以上	5.5 以上	準1級

別表 5 語学教育科目(未習外国語)

授業科目名	単		週 間数	備考	
1文本行 日 石	位	前期	後 期	VHI ~~	
ドイツ語初級 I ドイツ語初級 I フランス語初級 I	2 2 2	2 2	2		
フランス語初級 II 中国語初級 I 中国語初級 I	2 2 2	2	2	1カ国語選択必修 (同一外国語 I、II 必修)	
〒四面初版 I スペイン語初級 I スペイン語初級 I	2 2	2	2		
ドイツ語演習 I ドイツ語演習 I フランス語演習 I	2 2 2	2	2		
フランス語演習 I フランス語演習 I 中国語演習 I	2 2	2 2	2	選択	
中国語演習 I スペイン語演習 I スペイン語演習 I	2 2 2	2	2		
ドイツ語中級 I (総合) ドイツ語中級 I (コミュニケーション) ドイツ語中級 II (総合)	2 2 2	2 2	2		
ドイツ語中級 I (コミュニケーション) フランス語中級 I (総合)	2 2	2	2		
フランス語中級 I (コミュニケーション) フランス語中級 II (総合) フランス語中級 II (コミュニケーション)	2 2 2	2	2 2		
フランス語中級演習 I フランス語中級演習 I 中国語中級 I (総合)	2 2 2	2 2	2	選択	
中国語中級 I (コミュニケーション) 中国語中級 II (総合) 中国語中級 II (コミュニケーション)	2 2 2	2	2 2		
スペイン語中級 I (総合) スペイン語中級 I (コミュニケーション)	2 2 2 2	2 2	-    -  -  -  -		
スペイン語中級 II (総合) スペイン語中級 II (コミュニケーション) スペイン語中級演習 I スペイン語中級演習 II	2 2 2 2	2	2 2 2		
ドイツ語 Intensive 60 - I ドイツ語 Intensive 60 - II	4 4	4	4		
フランス語 Intensive 60 - I フランス語 Intensive 60 - II	4 4	4	4	選択	
中国語 Intensive 60 - I 中国語 Intensive 60 - II	4 4	4	4		

- (注) 1 初級はⅠ、Ⅱの順序で修得すること。
  - 2 演習を履修する場合は初級と同時に履修すること。
  - 3 演習、中級、Intensive を履修する場合、初級と同一言語を選択すること。
  - 4 演習、中級、Intensive は I 、 I の順序で履修することが望ましい。
  - 5 交流協定大学での語学研修を修了した場合は、選択科目として2単位分を認める。

#### 別表6 外部試験による単位認定

全学部学科:初級

科目	外部試験	合格基準	授業科目
ドイツ語	独検*	4級以上	ドイツ語初級Ⅰ、Ⅱ
フランス語	仏検**	4級以上	フランス語初級Ⅰ、Ⅱ
中国語	中検***	4級以上	中国語初級Ⅰ、Ⅱ
スペイン語	西検****	4級以上	スペイン語初級Ⅰ、Ⅱ

- \*ドイツ語技能検定試験
- \*\*実用フランス語技能検定試験
- \*\*\*日本中国語検定協会中国語検定試験
- \*\*\*\*スペイン語技能検定試験

別表7-1 語学教育科目(教育学部)

	要 求 単位数		授業科目名	単位	履修 年次		備考					
	6		A初級、A中級、A上級 B初級、B中級、B上級	2 2	1 1	必修						
英		6	総合英語 英語リーディング・ライティング 英語オーラルコミュニケーション	2 2 2	2 2 2	選択	・英語A、Bは、指定クラスで履修・未習外国語は、同一言語を4単位以					
語		2	English for Studying Abroad I 、 II	4	2~4	選択	上履修(初級Ⅰ、Ⅱは必修) ・英語はA、Bの4単位を含む6単位、					
	12		e − ラーニング I 、 II	1	1~4	選択						
	12								Intensive 60 - I、Ⅱ(英語)	4	1~4	選択
未	4 1 1	4	4	4	初級 I 初級 II	2 2	1 1	選必	すること。 ・English for Studying Abroad I、			
習外					4	4	4			II は受講要件に従い履修可能		
国語						中級Ⅰ、Ⅱ	2	2	選択			
П			Intensive 60 - I 、 II	4	2~4	選択						

別表7-2 語学教育科目(医学部医学科)

	要 求 単位数		授業科目名	単 位	履修 年次		備考								
			M A M B	2 2	1 1	必修	・英語MA、MB、Mリーディング・ ライティングは、指定クラスで履修								
		10			Mリーディング・ライティング	2	1	選択							
英語			(医学部キャンパス) M C M D	2 2	2 2	選択	<ul> <li>・英語の必修4単位を含め、1、2年 次合計で英語から10単位以上修得</li> <li>・English for Studying Abroad I、</li> </ul>								
	14			* English for Studying Abroad I 、 $\rm II$	4	$2 \sim 3$	選択	Ⅱは受講要件に従い履修可能							
	11					* e - ラーニング I 、Ⅱ	1	1~3	選択	・*印の科目は、専門科目の履修に支					
			* Intensive 60 - I 、II (英語)	4	1~3	選択	障のない場合に限り、履修可能								
未習		4	4	4	4	4	4	4	4		初級 I 初級 II	2 2	1 1	選必	・1年次で同一言語を4単位以上履修
外国										演習Ⅰ、Ⅱ	2	1	選択	・*印の科目は、専門科目の履修に支	
語			* Intensive 60 - I 、 II	4	2~3	選択	障のない場合に限り、履修可能								

別表7-3 語学教育科目(医学部看護学科)

	要 単位	求	授業科目名	単 位	履修 年次		備考		
			A初級、A中級、A上級 B初級、B中級、B上級	2 2	1 1	必修	・英語A、Bは、指定クラスで履修		
英		8	(医学部キャンパス) 英語リーディング・ライティング 英語オーラルコミュニケーション	2 2	2 2	選択	<ul> <li>・英語の必修4単位を含め、1、2年次合計で英語から8単位以上修得</li> <li>・English for Studying Abroad I、</li> </ul>		
語					* English for Studying Abroad I 、 II	4	2	選択	II は受講要件に従い履修可能
	12				* e - ラーニング I 、 II	1	$1 \sim 2$	選択	・*印の科目は、専門科目の履修に支
			* Intensive 60 - I 、II(英語)	4	$1 \sim 2$	選択	障のない場合に限り、履修可能		
未習			初級 I 初級 II	2 2	1 1	選必	1.亿亿元日 二苯人 4.86.01.1层版		
外国語		4	演習Ⅰ、Ⅱ	2	1	選択	1 年次で同一言語を 4 単位以上履修		

別表7-4 語学教育科目(工学部)

	要 求 単位数	授業科目名	単 位	履修 年次		備考
		A初級、A中級、A上級 B初級、B中級、B上級	2 2	1 1	必修	
		T C T D	2 2	2 2	必修	ФФТ А ТОП <b>У</b> ГФФФТ
英語		総合英語 英語リーディング・ライティング 英語オーラルコミュニケーション	2 2 2	2 2 2	選択	<ul><li>・英語A、B及び英語 TC、TDは、指定クラスで履修</li><li>・未習外国語は、同一言語を4単位以</li></ul>
		English for Studying Abroad I 、II	4	2~4	選択	上履修(初級Ⅰ、Ⅱは必修)
	14	e − ラーニング I 、 II	1	1~4	選択	・英語・未習外国語の必修 12 単位に加え、語学教育科目からさらに 2 単
		Intensive 60 - I、Ⅱ(英語)	4	1~4	選択	加え、前子教育科目からさらに2単位以上を修得
未		初級 I 初級 II	2 2	1 1	選必	・English for Studying Abroad I、 II は受講要件に従い履修可能
習外		演習Ⅰ、Ⅱ	2	1	選択	
国語		中級Ⅰ、Ⅱ	2	2	選択	
пп		Intensive 60 - I 、 II	4	2~4	選択	

別表7-5 語学教育科目(生命環境学部)

	要 求 単位数	授業科目名	単位	履修 年次		備考
		A初級、A中級、A上級 B初級、B中級、B上級	2 2	1 1	必修	
英		総合英語 英語リーディング・ライティング 英語オーラルコミュニケーション	2 2 2	2 2 2	選択	・英語A、Bは、指定クラスで履修
語	語	English for Studying Abroad I 、II	4	2~4	選択	・未習外国語は、同一言語を4単位以 上履修(初級Ⅰ、Ⅱは必修)
	14	e − ラーニング I 、 II	1	1~4	選択	<ul><li>・英語・未習外国語の必修8単位に加</li></ul>
		Intensive 60 - I、II(英語)	4	1~4	選択	え、語学教育科目からさらに6単位
未		初級 I 初級 Ⅱ	2 2	1 1	選必	以上を修得 ・English for Studying Abroad I、
当外	習	演習Ⅰ、Ⅱ	2	1	選択	Ⅱは受講要件に従い履修可能
国語		中級Ⅰ、Ⅱ	2	2	選択	
нн		Intensive 60 - I 、 II	4	2~4	選択	

別表8 日本語(外国人留学生向け)

₩ \$1 □ &7	単	毎 時 <b>1</b>	週 数	履修	備考
授業科目名	位	前期	後 期	年次	備考
日本語初中級IA、IB	2	2			
日本語初中級ⅡA、ⅡB	2		2		
日本語中級IA、IB	2	2			
日本語中級ⅡA、ⅡB	2		2		
日本語中上級 I	2	2			
日本語中上級Ⅱ	2		2		
日本語上級 I	2	2		1~4	   ・Intensive 科目は受講要件に従い履修可能
日本語上級Ⅱ	2		2	1~4	· Intensive 符日は文神安什に促い腹形可能
日本語演習 A	2	2			
ビジネス日本語	2	2			
日本語LR	2		2		
日本語 Intensive 入門 I	6	12	12		
日本語 Intensive 入門 II	6	12	12		
日本語 Intensive 初級	6	10	10		

#### 別表9 情報・数理教育科目

授業科目名	単位	毎 時 間		備	考
	1.1/-	前期	後 期		
データサイエンス入門	2	2	2	必修 学部・学科が指定する1科目を履修	:

#### 別表 10 - 1 情報・数理教育科目(教育学部)

課程	授 業 科 目 名	単位	履修年次	備考
学校教育課程	データサイエンス入門	2	1	必修

#### 別表 10 - 2 情報・数理教育科目(医学部)

学科	授 業 科 目 名	単位	履修年次	備考
医学科 看護学科	データサイエンス入門	2	1	必修

#### 別表 10 - 3 情報・数理教育科目(工学部)

学科	授 業 科 目 名	単位	履修年次	備考
工学科	データサイエンス入門	2	1	必修

#### 別表 10 - 4 情報・数理教育科目(生命環境学部)

学科	授 業 科 目 名	単位	履修年次	備考
生命工学科 地域食物科学科 環境科学科 地域社会システム学科	データサイエンス入門	2	1	必修

別表 11 教養教育科目

分野及び授業科目名	単	毎 週時間数		備	老
ガガスの放木作口石	位	前期	後 期	ни	***
人文科学分野	2	2	2		
社会科学分野	2	2	2		
自然科学分野	2	2	2		
健康科学分野	2	2	2		
教養発展科目				教養発展科目は、	学部・学科が指定する
国際理解と多文化共生	2	2		科目を履修	
外国人の子どもと教育	2	2			
子どもとジェンダー	2	2			
社会の中の医療・医学	2		2		
社会における看護と介護	2		2		
地球環境化学とエネルギー	2		2		
土木環境のコミュニケーション	2		2		
ソフトウェアプロジェクト管理	2	2			
これからの機械技術	2	2			
メカトロニクス入門	2		2		
電気系エンジニアのための日本語リテラシ	2	2			
生命科学入門	2		2		
食から見える世界いろいろ	2	2			
自然科学と環境	2		2		
政治とグローバル・イシュー	2		2		

別表 12-1 教養教育科目(教育学部)

課	程		分野及び授業科目名	単位	履修年次	要求単	位数
		人文科学分野	2	1~4	必修		
	社会科学分野			1~4	必修		
	自然科学分野			1~4	必修		
学校教育課程		健康科学分野			1~4	必修	12
		社会科学分野(日本)	国憲法)	2	1~4	必修	
		教養発展科目	国際理解と多文化共生 外国人の子どもと教育 子どもとジェンダー	2	2	必修	

<sup>(</sup>注)教養発展科目は、3科目のうち1科目を履修

別表 12 - 2 教養教育科目 (医学部)

学	科		分野及び授業科目名	単位	履修年次	要求単	位数
		人文科学分野 社会科学分野			1	必修	
医学科	1				必修		
看護学科		自然科学分野			1	必修	10
		健康科学分野		2	1	必修	10
医学科		教養発展科目	社会の中の医療・医学	2	1	必修	
看護学科	教養発		社会における看護と介護		1	少修	

<sup>(</sup>注)教養発展科目は、指定科目を履修

別表 12 - 3 教養教育科目 (工学部)

学	科		分野及び授業科目名	単位	履修年次	要求単	位数
		人文科学分野		2	1~3	必修	
	社会科学分野	2	1~3	必修			
		自然科学分野		2	1~3	必修	
		健康科学分野		2	1~3	必修	
工学科	W 44		地球環境化学とエネルギー		2	上 必修	10
工子符			土木環境のコミュニケーション		1		10
		教養発展科目	ソフトウェアプロジェクト管理	2	2		
	₹ 	<b>教食</b> 无族件日	これからの機械技術	2	2		
			メカトロニクス入門		2		
			電気系エンジニアのための日本語リテラシ		2		

<sup>(</sup>注)教養発展科目は、いずれかの科目を履修(ただしクラス・コースの推奨科目があるため、ガイダンス等で確認すること)

別表 12 - 4 教養教育科目(生命環境学部)

学科		分野及び授業科目名	単位	履修年次	要求単	位数
1 A - WA	人文科学分野		2	1~4	必修	
生命工学科 地域食物科学科	社会科学分野		2	1~4	必修	
環境科学科 地域社会システム学科	自然科学分野		2	1~4	必修	
地域はムンハノム子名	健康科学分野		2	1~4	必修	10
生命工学科		生命科学入門		2		10
地域食物科学科	www.co.o.co	食から見える世界いろいろ		2	N hir	
環境科学科	教養発展科目	自然科学と環境	2	2	必修	
地域社会システム学科		政治とグローバル・イシュー		2		

<sup>(</sup>注)教養発展科目は、指定科目を履修

#### 別表1

部門	区分	授業科目 番号	授 業 科 目 名	単位	毎週	数	必選	教職免	備考
工学基礎科目	工学部共通	UPC102 UPC103 UPC104 UPC105 UPC106 UPC107 UPC108 UPC110 UPC111 UPC112 UPC113 UPC114 UPC115 UPC116 UPC117 UPC117 UPC118 UPC119 UPC119 UPC119	基礎無機化学 基礎生物学 実践ものづくり実習 化学安全と衛生 基礎分析化学 土木環境工学概論 環境化学 マプラミング基礎 離散数学 デザイン基礎 Python プログラミング 統計処理入門	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	前 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	後 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	<ul><li>2</li><li>2</li><li>2</li><li>2</li><li>2</li><li>2</li><li>2</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><l< td=""><td>許 ☆ ☆☆☆ ☆☆ ★</td><td>•</td></l<></ul>	許 ☆ ☆☆☆ ☆☆ ★	•
	クラス共通	UPC151 UPC152 UPC153 UPC154 UPC155 UPC156 UPC157 UPC158 UPC159 UPC160 UPC161	基礎物理化学 化学熱力学 I 自然科学実験 土木環境デザイン 数値計算および実習 応用物理学 社会と科学技術 情報処理及びプログラミング基礎演習 プログラミング応用及び演習 I プログラミング応用及び演習 I 機械工学概論 電気の基礎 C言語プログラミング	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 4 2	2 4 2 2 2 2 2 2	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	<b>☆☆☆★</b> ★★★★	化学系クラス 化学系クラス 土木環境系クラス 土木環境系クラス 土木環境系クラス 総合工学クラス 情報系クラス 情報系クラス 4学期制(前半)
1	也 学 郛	LPC100	共生科学入門	2	2				生命環境学部(工学部学生はBクラス)

●は必修科目 ▲は選択必修科目(ただし、所属するクラスが指定する科目(備考欄参照)を含む6単位以上を必修とする) ○に数字は選択必修科目(数字は取得する単位数・例:④と記載している科目の中から4単位を修得する必要がある)

☆:教職免許(理科)の関連科目 ★:教職免許(工業)の関連科目 ただし、別表1以外に履修が必要な科目があるので、工学部免許状履修基準を確認すること。 ◆:前期と後期に開講するが通年ではない科目

別表1に記載している他学部科目は、卒業要件に含むことができる。

#### 別表2

ورماد	K W A D		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	標準	履修	年次	: 毎	週時	間数		- ス - ス fi	手の目	 滑條	—— 分類	教	
部門	授業科目 番号	授業科目名	単位		年		年		年	 _		_			職免許	備考
工学応用科目	UCL204 UCL205 UCL206 UAC201 UAC202 UAC203 UCE201 UCE203 UCE206 UCS201 UCS202 UCS203 UCS206 UCS207 UCS208 UME201 UME202 UME203 UME204 UME205 UME206 UME207 UME208 UME207 UME208 UME201 UME209 UME207 UJM201 UJM201 UJM206 UJM207 UJM201 UJM201 UJM202 UJM203 UJM204 UJM205 UJM206 UJM207 UJM201 UJM206 UJM207 UJM208 UJM209 UJM210 UJM209 UJM210 UJM211 UEE201 UEE201 UEE203 UEE206 UEE207 UEE208 UEE207 UEE211	材化入電機有化基建構水計防環基で計計デアアア画機も材材機熱応メ物メ材機計デ組組解基電電電電電電電工計組信電   固格性   四個	2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	n       2 <t< td=""><td>2</td><td>前</td><td>佼</td><td>前</td><td>佼</td><td></td><td>• • • • 8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(2コマ) (2サ) (機械) (機械) (機械) (電気) (情報) (情報) (情報)</td></t<>	2	前	佼	前	佼		• • • • 8					(2コマ) (2サ) (機械) (機械) (機械) (電気) (情報) (情報) (情報)
	UCL253 UCL254 UCL255 UCL256 UCL257 UCL258 UAC251 UAC252 UAC253 UAC254 UAC255 UAC255 UAC255	固体物性化学 環境エネルギー工学 触媒化学 無機分析化学実験 量子化学 高分子合成 分析化学 機能性材料科学 発展化学実験	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		2 2 2 2 2 2 6 2 2 2 2 4 2 4						•					(237)

工学応用科目	UCE259 UCE260 UCS251 UCS252 UCS253 UCS254 UCS255 UCS256 UCS257 UCS258 UME251 UME252 UME253 UME254 UME255 UME255 UME255 UME256 UME257 UME258 UME259 UJM251 UJM252 UJM253 UJM254 UJM255 UJM255 UJM256 UJM257 UJM258 UEE251 UEE252 UEE252 UEE253 UEE254 UEE255 UEE256 UEE256 UEE258 UEE259 UEE260 UEE261 UEE262 UEE263 UEE263 UEE263 UEE263 UEE263 UEE263 UEE2660 UEE263 UEE263	アルマーター では、	2 1 2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	6 6	•			••••	<b>★ ★★★ ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★</b>	(全分野)(電気) (機械) (機械) (機(減) (電気) (情報) (情報)
	UCL304 UCL305 UCL306 UCL307 UCL308 UCL310 UCL311 UAC301 UAC301 UAC303 UAC306 UAC306 UAC307 UAC308 UCE301 UCE302 UCE303 UCE304 UCE305 UCE306 UCE305 UCE306 UCE307 UCE307 UCE308 UCE307	電気化学 物理化学実践演習 有機化学化学 表の大学 表の大学 を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					☆☆☆★★★★★★★★☆☆★★★★★★★★	(2 ¬ ¬) (2 ¬ ¬)

工学応用科目	UCE312 UCE313 UCS301 UCS302 UCS303 UCS304 UCS306 UCS306 UCS307 UCS308 UCS309 UME301 UME302 UME303 UME304 UME305 UME306 UME310 UME311 UME312 UJM301 UJM302 UJM303 UJM304 UJM303 UJM304 UJM305 UJM306 UJM307 UJM308 UJM309 UJM310 UJM311 UJM311 UJM312 UJM311 UJM312 UJM313 UJM310 UJM310 UJM310 UJM311 UJM311 UJM312 UJM313 UJM311 UJM312 UJM313 UJM313 UJM313 UJM314 UJM315 UJM315 UJM316 UJM317 UJM317 UJM318 UJM318 UJM318 UJM319 UJM319 UJM310 UJM311 UJM311 UJM312 UJM313 UJM31 UJM	防災工学所学生 大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、	2 2 1 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			8				<b>* * * * * * * * * *</b>	(全分野) (全分野)(情報) (全分野) (全分野) (機械) (機械) (機械) (機械) (電気) (電気) (情報) (情報) (情報) 特別教育プログラム科目
	UCL352 UCL353 UCL354 UCL355 UCL356 UCL357 UCL358 UAC351 UAC352 UAC353 UAC354 UAC357 UCE351 UCE351 UCE351 UCE353 UCS354 UCS354 UCS355 UCS354 UCS355 UCS355 UCS355 UCS355 UCS355 UCS355 UCS355	クリーンエネルギー化学実験 無機化学実践演習 化学工学実践演習 分析化学実践演習 水素本等別講義 電池特別講義 電池特別講義 電池特別講義 電池特別講義 電池特別講義 電機化学演習 有機化学演習 有機化学演習 有機化学演習 生化学・高子と学文 一個でででである。 一個でででである。 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個では、 一のでは、 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。	3 1 2 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2		6 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			● 21 21 ● 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21	$\Diamond$			

工学応用科目	UME354 UME355 UME356 UME357 UME358 UME359 UME360 UJM351 UJM351 UJM355 UJM355 UJM356 UJM357 UJM358 UJM359 UJM360 UEE351 UEE351 UEE352 UEE353 UEE354 UEE355 UEE356 UEE357 UEE358 UEUE359 UCL401 UCL402 UAC401 UCL402 UAC401 UCL402 UAC401 UCL401 UCL401 UCL402 UAC401 UCL401	複素関数論機械ア学実験II メデバトコニークス演習 II 対抗 カース で	2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1				2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			$\Diamond$	$\Diamond \Diamond \Diamond \Diamond \Diamond$	•		$\triangleleft \triangleleft \triangleleft \triangleleft \triangleleft \triangleleft \triangleleft \triangleleft \triangleleft \bullet$			**** ** ********* **	(全分野) (機械) (電気) (電気) (情報) (情報)
工学特殊科目	UPC202 UPC251 UPC301 UPC302 UPC303 UPC352 UPC304 UPC353 UPC307 UPC308 UPC308 UPC401 UPC402 UPC403 UPC403 UPC403	データエンジニアリング基礎 AI基礎 技術者倫理 インターンシップ II 地域リーダー養成特別演習 1 地域リーダー養成特別演習 2 キャリア形成実習 3 キャリア形成実習 4 ベンチャービジネス論 PBLものづくり実践ゼミ 1 PBLものづくり実践ゼミ 2 工学科研修 II 工学科卒業研究 I 工学科卒業研究 I 出質管理概論	2 2 2 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 3 3 2	2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 0 0 2	2 2 2 12 12 2	2 2 2 12 12	••••	••••	••••	••••	•••	① ② • •	•••	*	工学科研修 I・Ⅱ の順序で履修すること 工学科卒業研究 I・Ⅱ の順序で履修すること
他学部	LPC109	食物科学入門 生物学概論 生命研究倫理学	2 2 1		2	2			1									生命環境学部(工学部学生はBクラス) 生命環境学部(工学部学生はBクラス) 生命環境学部(工学部学生はBクラス)
o o	UPC204 UPC305 UPC306 UPC406 UPC407 UPC408 UPC410 UPC411 UPC411 UPC412 UPC413 UPC414	キャリア形成実習 1 キャリア形成実習 2 地域リーダー養成特別実習 2 機器分析特別講義 I A 機器分析特別講義 I B 機器分析特別講義 I C 機器分析特別講義 I D 機器分析特別講義 I E 機器分析特別講義 I E 機器分析特別講義 I E 機器分析特別講義 I C 機器分析特別講義 I C 機器分析特別講義 I C 機器分析特別講義 I C 機器分析特別講義 I A	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1															**  **  **  **  **  **  **  **  **  **

	UPC416	機器分析特別講義ⅢB	1								*
	UPC417	機器分析特別講義ⅢC	1								*
その	UPC418	機器分析特別講義ⅢD	1								*
の他	UPC419	機器分析特別講義ⅢE	1								*
	UPT301	職業指導第一	2							$\star$	*
	UPT302	職業指導第二	2							*	*

●は必修科目(ただしメカトロニクスコースは備考欄に示す分野ごとの科目を修得する)○に数字は選択必修科目(数字は取得する単位数・

例:⑧と記載している科目の中から8単位を取得する必要がある)

△はコース選択科目 □は集中講義

#### 履修分類の略号

CL: クリーンエネルギー化学コース、AC: 応用化学コース、CE: 土木環境工学コース、CS: コンピュータ理工学コース

 $\mathrm{ME}$ : 機械工学コース、 $\mathrm{JM}$ : メカトロニクスコース、 $\mathrm{EE}$ : 電気電子工学コース

#### 備考欄

☆:教職免許(理科)の関連科目 ★:教職免許(工業)の関連科目

ただし、教職免許関連では別表2以外に履修が必要な科目があるので、工学部教育職員免許状履修基準を確認すること。

※:卒業要件外科目

(全分野)(機械)(電気)(情報)はメカトロニクスコース内の分野を示す。

別表2に記載している他学部科目は、卒業要件に含むことができる。

#### 工学部修学指導制度総取得単位数等基準

#### 別表3

7,132.0			
年 次	学 期	成績不振注意	退学勧告
1 /5 //0	前 期	20 単位未満	_
1年次	後期	35 単位未満	_
9 tr Vn	前 期	55 単位未満	30 単位未満
2年次	後期	70 単位未満	40 単位未満
2 5 16	前 期	85 単位未満	45 単位未満
3年次	後期	卒研履修要件未修	55 単位未満
A STENSO	前 期	卒研履修要件未修	70 単位未満
4年次	後期	卒研履修要件未修	
E C IT Ve	前 期	卒研履修要件未修	
5~6年次	後期	卒研履修要件未修	修学状況不良
7年次	前 期	卒研履修要件未修	
7 平仏	後期	修学状況不良	

#### 卒業等要件表

授業	科目区分		必修	単位数		完履修に 単位数	卒美	* に必要な単位	立数
	人間形成科	·目部門		2		1 1 1 1			
	語学教育	英語	8	1.4		1 1 1 1			
	科目部門	未習外国語	4	14		1 1 1 1			
全	情報・数理	教育科目部門	:	2		1 1 1 1			
全学共通教育科目		人文科学分野	2	1	30a	1 1 1 1 1		2	
教育		社会科学分野	2	-	30 <sup>a</sup>	1 1 1 1	ر ا	2	
科   目	17 H B B F F	自然科学分野	2	10		1 1 1 1 1			
		健康科学分野	2	- ! !		96			124
		教養発展科目	2	-		1 1 1 1			
	自発的教養	科目部門	_	_		1 1 1 1			
	工学基礎科	·目部門	1	1.8	24	1	24		
専	他学部科目*	·目部門		た38 より異なる)		1 1 1 1		92°	
専門科目		·目部門	-	_	42 <sup>b</sup>	1 1 1 1	60		
		*	-	_		1 1 1 1			
	その他(要	件外)	_	_	_	_		_	

<sup>\*:</sup> 履修科目のうち指定された科目(工学部履修規程別表1及び別表2)の単位数を7単位まで算入可 a: 3年次編入生は適用外とする b: 32単位以上は所属するコースの必修または選択科目の単位から修得すること c: 所属するコースの必修単位は全て修得すること

#### 教養教育科目(前期)

(注) ◆:2年次生以上が履修可能な科目 【連携】:山梨県立大学科目は3月下旬に公開される電子シラバスで確認すること。

			月					火					水		
分野	時限	時間割番号	科 目 名	担当教員	教室	時限	時間割番号	科 目 名	担当教員	教室	時限	時間割番号	科 目 名	担当教員	教室
	II	CAC054	日本古典の女流日記文学	小島 明子	N – 4 1	V	CAC022	ピアノを弾こう	池山 洋子	L 5 2 7	II	CAC003	考古学について	佐野 隆	M-12
	IV	EEUK51	音楽基礎研究	大内 邦靖	L 5 2 7					Ī		CAC005	山梨大学から見る大学の歴史と現在	日永龍彦	Y-11
人文	V	CAC036	教育史からみた近代	岩井 哲雄	N-12										
科					T							CAC007	小説における〈他者〉の問題	齋藤 知也	$Y - 3 \ 2$
学												CAC030	日本事情I	伊藤 孝恵	A 2 - 1 1
												CAC042 A	大学生のための言語表現	仲本康一郎	L C - 2 2
											V	CAC032	Intercultural Understanding through Images	奥村 生子・他	A 2 - 1 1
	Π	CAS023 A	心理学への誘い	小澤理恵子	M-12	I	CASO03 A	日本国憲法	伊藤 智基	N - 1 1	П	CASOO3 B	日本国憲法	菅沼 博子	N-11
社	Ш	CAS032	保育と社会	大野 歩	L C - 2 3		CAS004	住まいの地方性	田中 勝	L C - 2 6		CASOO8 A	人間理解の心理学	塚越 奈美	L C - 2 7
会		CAS037	Health System and Well-being in the World	宫本和子	Y-11					Y-1 2		CAS018	幼児期における特別支援教育	吉井 勘人	$Y = 3 \ 3$
科	IV	CAS044	特別支援教育工学	永田 真吾	Y = 1 1	V	CAS011	◆子どもとジェンダー	秋山 麻実	N-12					
学					Ī		CAS027	Language and Communication across Cultures	奥村 生子	Y = 14					
							CAS036	みんなの法学	稲田 和也	Y = 15					
自	II	CANOO8	家庭の中のエレクトロニクス	矢野 浩司・他	T 1 - 1 2	I	CANO11	◆これからの機械技術	角田 博之・他	A 2 – 2 1	П	CAN020	ガイア仮説と地球システム科学	松本 潔	N-12
然		CAN023	光る分子の科学	佃 俊明	S 1 - 1 1	Π	TEEK08	電力伝送工学	小川 覚美	A 1 – 1 1	1	CAN045	◆電気系エンジニアのための日本語リテラシ	白木 一郎	T 1 - 3 1
科	Ш	CAN035	数学的に考えるとは	清水 宏幸	N – 1 1	V	CANO10	ワインと宝石	鈴木 俊二・他	M-12	Ш	CANO43	◆ソフトウェアプロジェクト管理	高橋 正和	A 2 - 1 2
学		TEEK12	計測センシング工学	本間 聡	Y-32										
	П	CAH004	医工学と現代社会	岸上 哲士・他	N-12	I	CAH001	こころと体の障害の理解と支援	松下 浩之	$A - 3 \ 3$	II	CAH033	病気の子どもを取り巻く社会の現状と課題	川池 順也	S 1 - 1 1
健康	L	CAH038	心に寄り添うコミュニケーションスキル	正木 啓子・他	L C - 1 1		CAH032	運動学習とスポーツ	関口 浩文	N-12		CAH037	障害学生支援技術	永田 真吾・他	Y - 15
科	IV	CAH015	人体の生命科学	宇賀 貴紀・他	N – 1 1					Ī	Ш	CAH012	医療の最先端	犬飼 岳史・他	N-12
学	V	CAH029	不登校事例を通して学ぶ発達臨床心理学	若本 純子	A – 3 3						[				
		CAH030	グローバルヘルス入門	宫本和子	Y-11										
教養発						I	CAD006	◆これからの機械技術	角田 博之・他	A 2 – 2 1	П	CAD007	◆電気系エンジニアのための日本語リテラシ	白木 一郎	T 1 - 3 1
展科目						V	CAD003	◆子どもとジェンダー	秋山 麻実	N-12	Ш	CAD008	◆ソフトウェアプロジェクト管理	高橋 正和	A 2 - 1 2

			木					金					集中講義		
分野	時限	時間割番号	科 目 名	担当教員	教室	時限	時間割番号	科 目 名	担当教員	教室	時限	時間割番号	科 目 名	担当教員	教室
人文科						Ш	CAC045	書の様式と鑑賞	清水 文博	S 1 - 2 2		CAC051	◆外国人の子どもと教育	今澤 悌	$Y - 3 \ 3$
学							CAC052	ソクラテスの哲学	相澤 康隆	Y-12					
	I	CASO07	生活設計論	志村 結美	N-12	Ш	CAS013	資本市場の役割と証券投資	青木 涼太・他	S 1 - 1 1		CAS020	フューチャーサーチ	渡辺 喜道・他	
社会科	Ш	LSTK07	観光政策科学概論A	菊地 淑人・他	S 1 – 1 4		CAS038	消費者教育	神山 久美	M-11		CASO41 A	グローバルヘルスの課題解決に挑戦!フィールド ワーク計画を立てよう	宫本和子	
学										M-11		CASO41 B	グローバルヘルスの課題解決に挑戦!フィールド ワーク計画を立てよう	宫本和子	
						II	TEEK01	パワーエレクトロニクス	矢野 浩司	A 1 = 3 1		CAN050	ワイン製造演習及び体験学習	井上 絵梨	ワイン講義室
自										第2実習室					ワイン研
然						Ш	CAN022	自然災害と都市防災	宮本 崇	A 2 – 2 1					
科							CAN042	◆食から見える世界いろいろ	乙黒 美彩・他	N-11					
学							CAN048	数と三角関数	古田 夏海	L C - 1 1					
							TCSK01	情報理論	岩沼 宏治	T 1 - 3 1					
						Ш	CAH019	健康とスポーツの科学	安藤 大輔	N-12					
							CAH026	教養としてのジェンダー	角田 聡美	LC-27					
feets							CAH034	生活習慣と健康行動	志村 広子	LC-17					
健康科学															
教養発 展科目						Ш	CAD014	◆食から見える世界いろいろ	乙黒 美彩・他	N-11		CAD018	◆外国人の子どもと教育	今澤 悌	Y-33

### 教養教育科目(後期)

(注) ◆:2年次生以上が履修可能な科目 【連携】:山梨県立大学科目は3月下旬に公開される電子シラバスで確認すること。

			月					火			I		水		
分野	時限	時間割番号	科目名	担当教員	教室	時限	時間割番号		担当教員	教室	時限	時間割番号		担当教員	教室
人	II	CAC025	実演・楽器学〜管弦打楽器の特性と実践的編曲法〜	大内 邦靖	L 5 2 7	I	CAC010	日本語表現の現在	長谷川千秋	N-11	П	CAC031	日本事情II	伊藤 孝恵	A 2 - 1 2
文	IV	CAC014	日本の近代文学	尾形 大	Y - 3 2	V	CAC004	ヨーロッパ中世の諸相	告川 卓	M-12	1	CAC042 B	大学生のための言語表現	仲本康一郎	LC-22
科	V	CAC048	ドイツ語圏の文学	寺田 維介	Y-11		CAC041	切り絵と文化	小島 手か	M-11		<del> </del>			
学	•	CAC053	世界の中の日本	布村 猛	T 1 - 1 1		CAC050	美術の活動と社会	平野千枝子	Y-32					
41	П	CAS023 B	心理学への誘い	進藤 聡彦	M-12	V	CASOO3 C	日本国憲法	菅沼 博子	N-11	п	CASOO8 B	人間理解の心理学	尾見 康博	M-11
社 会	Ш	CAS009	教育問題から見た現代社会	高橋英児	Y-31	•	CAS039	◆政治とグローバル・イシュー	小松 志朗	S 1 – 1 1	"	CASO17	現代教育政策論	日永龍彦	Y-12
科	ш	CAS043	コミュニケーションと対人関係スキル	渡部雪子	LC-24		CAS042	AI・デジタル社会の歩み方	坂田 信裕・他	工業会館AL室	IV	CAS033	土木環境のコミュニケーション	遠山 忠・他	T1-11
学 -	V	CAS043	人間理解の心理学	小野田亦介	M-11		UA3042	A1・/ フラル社芸の多み分	эхш іриг ів	1-36 25 BHUE-15	11	CASUSS	上小泉鬼のコミューケーション	海田 心 旭	T1-21
	T T		◆地球環境化学とエネルギー	野原 慎士	T 1 – 1 2	ī	CAN029	◆自然科学と環境	西田 継・他	S 1 - 2 2	II	CAN009	人間とコンピュータ	渡辺 喜道・他	Y-33
ļ.	I Т - П 1			則竹 史哉	第4実習室		<b></b>	·	和田 智志	M-11	ш			中川 洋史・他	S 1 – 1 1
l.	$I \sim II - 1$	CANO41	◆情報処理及び実習	<b></b>		IV V	TACK19	安全環境化学		N1-11 クリスタル研411		CAN028	生命を科学する		
自	II	CAN039	富士山学	中村 高志・他	N-11	V	CAN014	クリスタルサイエンス	綿打 敏司・他	クリスタル6計411		CAN032	地球科学の未解決問題	福地 龍郎	Y-31
然			◆生命科学入門	大槻 隆司・他	S 1 – 1 1							CAN047	つながりの数学	中村 拓司	S 1 – 1 4
科		TCEK17	都市計画	石井 信行・他	T 1-12							TAMK18	半導体プロセス工学	近藤 英一	B 2 - 2 1
学	III	CAN046	人と社会の情報化	山際 基	N-12										
Į.		CAN049	数理モデル入門	宮川 雅至・他	N-41										
	IV	CAN021	物理パズルで親しむ身近な自然現象	長島 礼人	$Y - 3 \ 3$										
	V	CAN019	数学的見方	小池 健二	Y-14										
/sds.	Π	CAH006	頭と身体の運動学	木島 章文	$Y - 3 \ 3$	I	CAH014	社会の中の医療・医学	鈴木章司・他	A 2 – 2 1	П	CAH013	社会における看護と介護	宮村 季浩・他	M-12
康		CAH035	身近な健康情報を科学する	木内政孝	M-11										
承 科	III	CAH021 A	臨床心理学を学ぶ	田中健史朗	S 1 – 1 1										
学	IV	CAH024	現代の体育・スポーツを考える	金澤 翔一	M-12										
·	V	CAH003	現代生活とバイオテクノロジー	鈴木堅太郎	S 1 – 1 4										
*** ** =	I	CAD011	◆地球環境化学とエネルギー	野原 慎士	T 1-1 2	I	CAD004	社会の中の医療・医学	鈴木章司・他	A 2 - 2 1	II	CAD005	社会における看護と介護	宮村 季浩・他	M-12
教養発展 科目	$I\sim I\!I-\!1$	CAD012	◆情報処理及び実習	則竹 史哉	第4実習室		CAD015	◆自然科学と環境	西田 継・他	S 1 - 2 2	IV	CAD010	土木環境のコミュニケーション	遠山 忠・他	T 1 - 1 1
71 H	Π	CAD013	◆生命科学入門	大槻 隆司・他	S 1 – 1 1	V	CAD017	◆政治とグローバル・イシュー	小松 志朗	S 1 – 1 1					T 1 - 2 1
			木					金					集中講義		
分野	時限	時間割番号	科 目 名	担当教員	教室	時限	時間割番号	科 目 名	担当教員	教室	時限	時間割番号	科 目 名	担当教員	教室
文	I	CAC002	日本古代の政治と文化	西本 哲也	N-11	Ш	CAC013	子ども文化	栗田 真司	N-11		CAC051	◆外国人の子どもと教育	今澤 悌	Y-33
科学							CAC020	現代美術入門	井坂健一郎	L 5 1 4					
	I	CASOO3 D	日本国憲法	石塚 迅	M-12	III	CAS015	発達と障害	古屋 義博	M-11		CAS020	フューチャーサーチ	渡辺 喜道・他	
社 会 科							CAS045	大学入学から考える多様性とアメリカ社会	吉田翔太郎	S 1 – 1 1		CASO41 A	グローバルヘルスの課題解決に挑戦!フィールドワーク計画を立てよう	宮本和子	
学												CASO41 B	グローバルヘルスの課題解決に挑戦!フィールドワー ク計画を立てよう	宮本和子	
	I	CAN038	超小型電動車の仕組みとその強度評価	林 丈晴	$Y - 3 \ 3$	I	TCEK20	環境生態学	森 一博・他	T 1 - 3 2		CAN050	ワイン製造演習及び体験学習	井上 絵梨	ワイン講義室
自	Ш	TMEK09	加工学I	孕石 泰丈	T 1 – 3 2	Ш	CAN013	一般相対性理論への招待	山下 和之	Y - 3 1					ワイン研
然 科				<u> </u>	<b> </b>		CAN018	水圏植物の生物学	芹澤如比古	L C - 2 3	l	1		1	1
科 学							CAN034	プラスチックの科学	森長 久豊	Y-32					
7						V	CAN044	◆メカトロニクス入門	岡村 美好・他	A 2 - 1 2	1				
健						Ī	LPCK05	食物科学入門	望月 和樹	N-12	t				
学康						Ⅲ	CAH018	運動遊び	沢木綾子	I. C = 2.4	1				
子   科						ш	CAH018 CAH021 B	臨床心理学を学ぶ	西谷 晋二・他	A 1 - 4 1					
							CAHUZI B	雌小心生子で子か	四本 用一.肾	A1-41	╂—				+
教養発展 科目						V	CAD009	◆メカトロニクス入門	岡村 美好·他	A 2 - 1 2	L	CAD018	◆外国人の子どもと教育	今澤 悌	$Y - 3 \ 3$

	新 授 業 科 目			旧授業科目					
授業科目番号	授業科目名	単位	授業科目番号	授業科目名	単位	履修 年次	必選	部門	適用年度等
TCS100	コンピュータ理工学基礎ゼミ	2	060620	コンピュータ理工学基礎ゼミ	2	1	必修	基礎ゼミ	平成28年度以前の入学生に適用
UPC123 D	基礎ゼミ	2	TCS100	コンピュータ理工学基礎ゼミ	2	1	必修	基礎ゼミ	令和5年度以前の入学生に適用
TPC101	微分積分学!	2	257010	微分積分学I	2	1	必修	基教	平成28年度以前の入学生に適用
TPC102	微分積分学Ⅱ	2	257020	微分積分学II	2	1	選択	基教	平成28年度以前の入学生に適用
TPC103	線形代数学I	2	257030	線形代数学I	2	1	必修	基教	平成28年度以前の入学生に適用
TPC104	線形代数学II	2	257040	線形代数学II	2	1	選択	基教	平成28年度以前の入学生に適用
TCS101	離散数学	2	253051	離散数学	2	1	必修	基教	平成28年度以前の入学生に適用
TCS102	情報処理及び実習	3	253102	情報処理及び実習	3	1	必修	基教	平成28年度以前の入学生に適用
TCS103	プログラミング基礎	2	253127	プログラミング基礎	2	1	必修	基教	平成28年度以前の入学生に適用
TCS104	プログラミング基礎演習	1	253128	プログラミング基礎演習	1	1	必修	基教	平成28年度以前の入学生に適用
TCS105	プログラミング応用	2	253137	プログラミング応用	2	1	必修	基教	平成28年度以前の入学生に適用
TCS106	プログラミング応用演習	1	253138	プログラミング応用演習	1	1	必修	基教	平成28年度以前の入学生に適用
TCS107	コンピュータ理工学概論	2	253142	コンピュータ理工学概論	2	1	必修	基教	平成28年度以前の入学生に適用
TCS201	情報理論	2	253143	情報理論	2	2	選択	基教	平成28年度以前の入学生に適用
TCS108	物理学I	2	253207	物理学I	2	1	選択	基教	平成28年度以前の入学生に適用
TCS109	物理学II	2	253208	物理学Ⅱ	2	1	選択	基教	平成28年度以前の入学生に適用
TCS202	基礎電気理論	2	253209	基礎電気理論	2	2	選択	基教	平成28年度以前の入学生に適用
	確率統計及び演習Ⅰ	2	253307	確率統計及び演習Ⅰ	2	1	必修	基教	平成28年度以前の入学生に適用
	確率統計及び演習Ⅱ	2	253308	確率統計及び演習Ⅱ	2	1	選択		平成28年度以前の入学生に適用
TCS301	科学技術英語	2	253410	科学技術英語	2	3	必修	基教	平成28年度以前の入学生に適用
TCS112	計算機アーキテクチャI	2	263111	計算機アーキテクチャI	2	1	必修	基工	平成28年度以前の入学生に適用
TCS113	計算機アーキテクチャI演習	1	263112	計算機アーキテクチャI演習	1	1	必修	基工	平成28年度以前の入学生に適用
	計算機アーキテクチャII	2	263113	計算機アーキテクチャII	2	2	選択	基工	平成28年度以前の入学生に適用
TCS326	計算機アーキテクチャII	2	TCS203	計算機アーキテクチャII	2	2	選択		平成29年度以前の入学生に適用
TCS204	ハードウェア基礎実験	2	263117	ハードウェア基礎実験	2	2	選択		平成28年度以前の入学生に適用
	データベース及び演習	2	263118	データベース及び演習	2	2	必修		平成28年度以前の入学生に適用
	情報システムと社会「	2	263119	情報システムと社会「	2	2	必修		平成28年度以前の入学生に適用
	情報システムと社会 I	2	TCS206	情報システムと社会「	2	2	必修		令和3年度以前の入学生に適用
TCS207	アルゴリズムとデータ構造I	2	263114	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	2	2	必修	基工	平成28年度以前の入学生に適用
	アルゴリズムとデータ構造I演習	1	263115	アルゴリズムとデータ構造I演習	1	2	必修		平成28年度以前の入学生に適用
	アルゴリズムとデータ構造II	2	263116	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	2	2	選択		平成28年度以前の入学生に適用
	プログラミング言語論	2	263131	プログラミング言語論	2	2	必修		平成28年度以前の入学生に適用
	コンピュータグラフィックス	2	263127	コンピュータグラフィックス	2	2	必修		平成28年度以前の入学生に適用
	コンピュータグラフィックス及び演習	2	TCS211	コンピュータグラフィックス	2	2	必修		平成29年度以前の入学生に適用
TCS212	コンピュータグラフィックス演習	1	263128	コンピュータグラフィックス演習	1	2	必修		平成28年度以前の入学生に適用
	情報システムと社会Ⅱ	2	263120	情報システムと社会Ⅱ	2	2	選択		平成28年度以前の入学生に適用
	オペレーティングシステム	2	263121	オペレーティングシステム	2	2	必修		平成28年度以前の入学生に適用
	オペレーティングシステム演習	1	263122	オペレーティングシステム演習	1	2	必修		平成28年度以前の入学生に適用
	ソフトウェアエ学及び演習「	2	263124	ソフトウェア工学及び演習「	2	2	必修	<del>-</del>	平成28年度以前の入学生に適用
TCS302	ソフトウェア工学及び演習Ⅱ	2	263125	ソフトウェアエ学及び演習Ⅱ	2	3	選択		平成28年度以前の入学生に適用
TCS303	ソフトウェアプロジェクト管理	2	263126	ソフトウェアプロジェクト管理	2	3	選択		平成28年度以前の入学生に適用
TCS304	コンピュータネットワーク	2	263129	コンピュータネットワーク	2	3	必修		平成28年度以前の入学生に適用
	コンピュータネットワーク	2	TCS304	コンピュータネットワーク	2	3	必修		平成29年度以前の入学生に適用
	コンピュータネットワーク実習	2	263130	コンピュータネットワーク実習	2	3	選択		平成28年度以前の入学生に適用
TCS221	コンピュータネットワーク実習	2	TCS305	コンピュータネットワーク実習	2	3	選択		平成29年度以前の入学生に適用
	形式言語とコンパイラ 論理と形式手法	2	263135	形式言語とコンパイラ	2	3	選択		平成28年度以前の入学生に適用
		2	263136 TCS307	論理と形式手法	2	3	選択		平成28年度以前の入学生に適用 平成29年度以前の入学生に適用
	数理と論理に基づく情報処理	2	TCS307 263137	論理と形式手法	2	3	選択		
	ヒューマンコンピュータインタラクション	2		ヒューマンコンピュータインタラクション	2		選択		平成28年度以前の入学生に適用 平成28年度以前の入学生に適用
	数値計算 ソフトウェア設計開発演習I	2	263138 263132	数値計算 ソフトウェア設計開発演習I	2	3	選択必修		平成28年度以前の入学生に適用 平成28年度以前の入学生に適用
	ソフト・フェア設計開発演習! ソフトウェア開発プロジェクト実習!	2	TCS310	ソフトウェア設計開発演習I	2	3	必修		平成28年度以前の入学生に適用 平成29年度以前の入学生に適用
	ソフトウェア開発プロジェクト美音ロ	2	263133	ソフトウェア設計開発演習II	2	3	必修		平成29年度以前の入学生に適用 平成28年度以前の入学生に適用
	アント・フェア 設計開発演習ITシステム開発実習	1	263133	ITシステム開発実習	1	3	選択		平成28年度以前の入学生に適用 平成28年度以前の入学生に適用
	リスク管理・危機管理概論	2	267390	リスク管理・危機管理概論	2	3	選択		平成28年度以前の入学生に適用
	ツスツ官理・厄俄官理城調 総合科目1	2	263460	ツスク官理・厄俄官理城論 総合科目1	2	3	選択		平成28年度以前の入学生に適用 平成28年度以前の入学生に適用
	総合科目2	2	263461	総合科目2	2	3	選択		平成28年度以前の入学生に適用
	総合科日2 ビジュアルコンピューティング	2	273111	ビジュアルコンピューティング	2	3	選必	-	平成28年度以前の入学生に週用 平成28年度以前の入学生に適用
	画像処理及び演習	2	TCS315	ビジュアルコンピューティング	2	3	選択		平成28年度以前の入学生に週用 平成29年度以前の入学生に適用
		2			2	3			
	感性情報工学及び深羽		273112	感性情報工学	2	3	選必		平成28年度以前の入学生に適用
TCS331	感性情報工学及び演習	2	TCS316	感性情報工学	۷	J	選択必修	心州工字	平成29年度以前の入学生に適用

新 授 業 科 目		旧授業科目						1204 744 III	
授業科目番号	授業科目名	単位	授業科目番号		単位	履修 年次	必選	部門	適用年度等
TCS317	感性情報処理演習	1	273113	感性情報処理演習	1	3	選必	応工	平成28年度以前の入学生に適用
TCS318	知的システムI	2	273121	知的システムI	2	3	選必	応工	平成28年度以前の入学生に適用
TCS319	知的システムII	2	273122	知的システムⅡ	2	3	選必	応工	平成28年度以前の入学生に適用
TCS320	知的システム演習	1	273123	知的システム演習	1	3	選必	応工	平成28年度以前の入学生に適用
TCS321	組込みシステム	2	273131	組込みシステム	2	3	選必	応工	平成28年度以前の入学生に適用
TCS333	IoT・AIシステム	2	TCS321	組込みシステム	2	3	選択必修	応用工学	平成29年度以前の入学生に適用
TCS322	ディジタル信号処理	2	273132	ディジタル信号処理	2	3	選必	応工	平成28年度以前の入学生に適用
TCS323	組込み情報処理演習	1	273133	組込み情報処理演習	1	3	選必	応工	平成28年度以前の入学生に適用
TCS334	IoT・AIシステム演習	1	TCS323	組込み情報処理演習	1	3	選択必修	応用工学	平成29年度以前の入学生に適用
TPC400	ベンチャービジネス論	2	277010	ベンチャービジネス論	2	4	選択	応工	平成28年度以前の入学生に適用
TPC401	品質管理概論	2	277020	品質管理概論	2	4	選択	応工	平成28年度以前の入学生に適用
TJM217	組込み設計	2	268150	組込み設計	2	2	選択	応工	平成28年度以前の入学生に適用
TME317	自動車工学	2	271260	自動車工学	2	3	選択	応工	平成28年度以前の入学生に適用
TEE313	電気エネルギー変換工学	2	272054	電気エネルギー変換工学	2	3	選択	応工	平成28年度以前の入学生に適用
TJM314	運動の力学Ⅱ	2	278080	運動の力学II	2	3	選択	応工	平成28年度以前の入学生に適用
TJM311	システム設計	2	278040	システム設計	2	3	選択	応工	平成28年度以前の入学生に適用
TJM315	マルチメディア工学	2	278090	マルチメディア工学	2	3	選択	応工	平成28年度以前の入学生に適用
TEE315	電子デバイス工学Ⅱ	2	272070	電子デバイス工学II	2	3	選択	応工	平成28年度以前の入学生に適用
TME322	航空宇宙工学	2	271280	航空宇宙工学	2	3	選択	応工	平成28年度以前の入学生に適用
TCS324	特別講義I	2	283013	特別講義I	2	3 <b>~</b> 4	選択	特研	平成28年度以前の入学生に適用
TCS325	特別講義Ⅱ	2	283014	特別講義II	2	3~4	選択	特研	平成28年度以前の入学生に適用
TPC105	実践ものづくり実習	1	287030	実践ものづくり実習	1	1	選択	特研	平成28年度以前の入学生に適用
TPC301	PBLものづくり実践ゼミ	2	287040	PBLものづくり実践ゼミ	2	3	選択	特研	平成28年度以前の入学生に適用
TPC303	キャリア形成実習3	1	290053	キャリア形成実習3	1	3	選択	特研	平成28年度以前の入学生に適用
TPC304	キャリア形成実習4	1	290054	キャリア形成実習4	1	3	選択	特研	平成28年度以前の入学生に適用
TPC305	リーダー養成特別演習1	1	290001	リーダー養成特別演習1	1	3	選択	特研	平成28年度以前の入学生に適用
TPC306	リーダー養成特別演習2	1	290002	リーダー養成特別演習2	1	3	選択	特研	平成28年度以前の入学生に適用
TCS217	インターンシップI	1	283015	インターンシップI	1	2~4	選択	特研	平成28年度以前の入学生に適用
TCS218	インターンシップⅡ	1	283016	インターンシップII	1	2~4	選択	特研	平成28年度以前の入学生に適用
TCS401	コンピュータ理工学研修Ⅰ	1	283020	コンピュータ理工学研修Ⅰ	1	4	必修	特研	
TCS402	コンピュータ理工学研修II	1	283021	コンピュータ理工学研修Ⅱ	1	4	必修	特研	
TCS400	コンピュータ理工学卒業論文	6	283030	コンピュータ理工学卒業論文	6	4	必修	特研	平成28年度以前の入学生に適用
TPC203	キャリア形成実習1	1	290051	キャリア形成実習1	1	2			平成28年度以前の入学生に適用
TPC204	キャリア形成実習2	1	290052	キャリア形成実習2	1	2			平成28年度以前の入学生に適用
_	リーダー養成特別インターンシップ1	1	290031	リーダー養成特別インターンシップ1	1	3			平成28年度以前の入学生に適用
	リーダー養成特別インターンシップ2	1	290032	リーダー養成特別インターンシップ2	1	3			平成28年度以前の入学生に適用
	リーダー養成特別インターンシップ3	1		リーダー養成特別インターンシップ3	1	4			平成28年度以前の入学生に適用
TPC403	機器分析特別講義IA	1	298001A	機器分析特別講義IA	1	4			平成28年度以前の入学生に適用
TPC404	機器分析特別講義IB	1	298001B	機器分析特別講義IB	1	4			平成28年度以前の入学生に適用
TPC405	機器分析特別講義IC	1	298001C	機器分析特別講義IC	1	4			平成28年度以前の入学生に適用
_	機器分析特別講義ID	1	298001D	機器分析特別講義ID	1	4			平成28年度以前の入学生に適用
TPC407	機器分析特別講義IE	1	298001E	機器分析特別講義IE	1	4			平成28年度以前の入学生に適用
_	機器分析特別講義IF	1	298001F	機器分析特別講義IF	1	4			平成28年度以前の入学生に適用
TPC410	機器分析特別講義IG	1	298001G	機器分析特別講義IG 機器分析特別講義IIA	1	4			平成28年度以前の入学生に適用 平成28年度以前の入学生に適用
	機器分析特別講義IIA		298002A	機器分析特別講義IIA	1	4			
	機器分析特別講義IIC	1	298002C	機器分析特別講義IIC	1	4			平成28年度以前の入学生に適用
	機器分析特別講義IIIA 機器分析特別講義IIIB	1	298003A 298003B	機器分析特別講義IIIA 機器分析特別講義IIIB	1	4			平成28年度以前の入学生に適用 平成28年度以前の入学生に適用
_		1	298003B 298003C	機器分析特別講義IIIB	1	4			平成28年度以前の入学生に適用 平成28年度以前の入学生に適用
	機器分析特別講義IIIC 機器分析特別講義IIID	1	298003C 298003D	機器分析特別講義IIIC 機器分析特別講義IIID	1	4			平成28年度以前の入学生に適用 平成28年度以前の入学生に適用
	機器分析特別講義IIIE	1	298003D 298003E	機器分析特別講義IIIE	1	4			平成28年度以前の人学生に適用 平成28年度以前の入学生に適用
	(機器) (機器) (機器) (機器) (機器) (機器) (機器) (機器)	2	808200	代数学	2	2			平成28年度以前の人学生に適用 平成28年度以前の入学生に適用
	光	2	808210	光	2	2			平成28年度以前の入学生に適用
TPT102	情報と職業	2	801050	情報と職業	2	3			平成28年度以前の入学生に適用
TPT406	情報通信技術を活用した教育の方法と技術	2	TPT403	教育の方法と技術	2	2			令和3年度以前の入学生に適用
UPT101 集中講義	教育学概論	2	TPT301	教育学概論	2	1~4			令和5年度以前の入学生に適用
LIDT102	現代教職論	2	TPT302	現代教職論	2	1~4		その他	令和5年度以前の入学生に適用
UPT104 前期月曜皿	青年期心理学	2	TPT304	青年期心理学	2	1~4		その他	令和5年度以前の入学生に適用
UPC106 C 前期水曜皿	基礎物理学(力学)	2	TCS108	物理学I	2	1	選択	基教	令和5年度以前の入学生に適用
									•